綠丘新聞

發行所 小樽商科大學 編輯部
發行兼編輯人 斎藤敏夫
印刷所 [illegible]
印刷人 角[illegible]

小樽商大教授 木村重義著
會計學の根本原理
東京都千代田區神田神保町一ノ一 同文館

全学連の目指す道

重点は日常闘爭

各地に統一戰線を

十一月、二、三兩日全學連は第三回の臨時全國大會を催したが之を契機に全學連の動きがどの様に移るかは極めて注目すべき問題であるが之に關して全學連の運動方針を決する防衛闘爭綱領を中心として以下にその特徴をみてみよう。

先づその學生々活防衛に關しては現在の學生々活は加速度的に窮乏の一途を辿つて居る該之が防衛の爲には各地域、各學校の日常的のたゆみない活動が最重要課題なりとして居るので全國的規模に統一された運動の基盤として各地域各學校の日常斗爭を強化する方向へ前進する機勢力が向けられる事は疑ひなく研究、教育の防衛に關しては國家的規模の統一的要求と共に各地方の實情が具体的にあげて深く日常化する必要ありとして居る點にも重點が日常闘爭に置かれて居る事が知られる。大學管理法と私學法案反對に就いては前者に對しては審議會は依然非民主的なりとして之に全學連代表の正式參加を強く要求する事となるべく審議會の公開等の要求がなされるであらう。私學法に關しては官僚統制による私學の自主性を失はしめる危險を排除する爲に私學經營の反對態度を支持して國庫補助を政府に要求する事を決定して居る。闘爭綱目下強化しつゝある私學法反對運動が更に強化せしめられるであらう。ともあれ防衛復興綱領が掲げて居る化は全學連加入、未加入を問はず特に文化團体、アルバイト團体をも含めたあらゆる分野に亘り廣範な統一

る事になる。その爲には日和見主義の克服と小兒病的傾向の排除が果されねばならぬと云つて居る所から各學校自治會の態度の明白化が要請される所となるのではないかと思はれる。更にそれは組織の確立と強化の

統一戰線の擴大が要請されて居る。それは更に他の民主的學生團体、更には私學連との提携に全力を注ぐと共に學生戰線の分裂の策動を徹底的に排除し之を孤立せしめるべく運動が展開される事となつてあらう。斯くて全學連の今後の方向は明かに從來よりは一層明白に多面的な日常的な統一斗爭へと指向する事となり地方學連の強化を益々要請する事となるであらう。尚去る十一日には代表が文部當局を訪れ全國大會の決議文を手交したが文相は不在で政務次官と面會し要求項目に回答を求め、[illegible]回答を[illegible]回避せんと努める政務次官を[illegible]追求、三戰[illegible]を補正豫算で要求する[illegible]四十五億の計上、育英資金[illegible]未補豫算に關し十二億計上する等六項目に亘り回答を得て居る。

「活潑な中央の動き」

河内君語る

全日本學生自治會總連合第五回全國臨時大會は十一月二、三の兩日約百二十校の代議員二百五十人、評議員百五十人參集、百人の傍聽者を集めて早稻田大隈講堂及び商業會館〇二番教室に於て開催されたが本學自治委員會は一年の河内君を代表として送つたが以下は同君の報告である。

第一日は先づ〃我々は如何に闘爭して來たか〃の議題の下に一般經過報告、地方報告、及びこの報告に對する討論承認が行はれた。この中で注目すべき事項としては新制大學に於けるC・I・Eイールズ氏の講演に端を發した赤色教授追放の動は全國的に廣がつたが現在の所は一應中止の形である。然し之は一時的な退却であるから全學連の不斷の闘爭により最後まで阻止せねばならない。又問題となつた團体等規正令に全學連が適用するか否かは文部省と法務府との見解が異つてゐる矛盾がありこの點をついて飽くまでも反對すべきで[illegible]適用されて[illegible]と云ふ事等である。

第二日は〃我々は何を要求するか〃の議題の下に諸事が進められたが、學生々活防衛のために、官公私を問はず一切の授業料、寮費の値上げ、強制寄附に反對する。育英資金は大學高專を四千五百圓、高校を四千圓に引上げ、全國學生の三十%以上を採用させる樣、[illegible]の大幅增加を要求する。學生アルバイトに伴ふ失業に對し、[illegible]制度の廢止又は合理的改善を要求する。研究の自由と學園の自治のために、團体等規正令の廢止、[illegible]學校教育法施行細則十三條の撤回、學校細胞解散の即時中止と學內外の政治活動の完全自由等を要求する。

[illegible]れた運動はこうした各地域、各學校の具体的日常諸要求のための闘いの中から盛り上る必要がある。以上が報告の大要であるが、政府又は學校當局の學生自治會、全學連に對する中央の壓迫は我々の想像以上に陰險なものであるとの事である。

私學法反對續く

一部を修正

國民の經濟生活が、窮乏のどん底に陷るにつれて、授業料と寄附の外には財源のない我が國私學の經營は極度に困難となり、同時な教育成果を上げて來つた私學も、經營の存亡も見なければならぬ現狀となつて來、この打開策として國家からの補助が強く要請されて來た。政府は第六國會に私學校法案の上程を豫定し、私學の復興を促進せんとしてゐるが、[illegible]私學の復興をむしろ阻害し、從らに官僚統制を強化するものと強烈な反對が起り、一部修正を十一日の閣議で決定、十項目が修正された。こゝに於て全學連はその方面の運動を打ち止めることに干与した。

久木教授

六年振りに歸る

交通論、經營論を擔當して居た久木教授は昭和十九年北千島に赴任、その後シベリヤにあつたが九月一日無事に舞鶴に引揚の一步を印し此の程その元氣な姿を再び綠丘に見せ[illegible]

相澤氏渡米

十一月三日（文化の日）十館の全國優良公民館の表彰式が文部大臣室で行はれたが、本學の先輩で[illegible]公民館長相澤[illegible]氏は、[illegible]南宮三郎教授らと[illegible]

[illegible]る事となつた。[illegible]人、故大西教授の愛弟子で、大正十二年トツプで卒業、新設の大阪外語に迎へられ、すぐランデン大學に留學、商學を研究、歸朝後、大阪で商學教授の職にあられたが、終戰の翌年に[illegible]られ、公民館の發展と共に公民館長に推され、その活躍が今回みとめられたもの、[illegible]れてゐる。來年二月、全國十の優良公民館長の代表として渡米の[illegible]が入り、皆を驚かせてゐる。教授は目下[illegible]非教授宅上の外人官舍に居るが講義を始めるのは明春からとなる模樣であり三年生の受講、保險論を擔當する事となるであらう。

修學旅行

復活か？

學生自治委員會では、戰前の例年行事の一つであつた修學旅行の復活を要望する學生の聲をとりあげ具体的なプランを立てるべく（各方面に）研究調査を續けてゐたが、此度やうやくまとまつた

以前は、北は樺太から南は滿洲にまでも、足を伸ばし小數名のいくつもの班に分れ二三人の教授と共に、カンカン帽をかぶつたりして出かけた思ひ出は、今猶先輩からいつも聞かされる所である。が、戰爭と共にその姿も消えゆくの止むなきに至り今日に至つた。

そのプラン――目的地は關西（大阪、京都方面）で、費用の中樞費は、[illegible]大阪行旅行團体五割引適用は、京都、奈良、東京を經て往復二千五百圓、宿泊費は大阪二泊、京都二泊、奈良一泊、東京二泊〃計七泊で、一泊二百圓位の最も安い所を探すことにし、合計約四千圓を豫算[illegible]月迄に積立てると、一月の割合は、三百五十圓程度となる。この金額を今月から積立てる[illegible]今急の申込者は九十名で今年[illegible]

大手を振つて旅行

[illegible]

各大學

學長公選しきり

學外ニユーズ

東大の學長公選は十一月二十六日に行はれたが現學長南原[illegible]が總投票數[illegible]票中[illegible]票の壓倒的多數を得て再選した。なお[illegible]の任期は二年である。北大でも二十六日中央講堂で公選が行はれたが現學長伊藤誠哉博士が總投票數三百八票中百六十三票を獲得再選された、九大でも九州大學の任期滿了に伴ひ學長公選が教官、事務官二二四名によつて去る十五日に行はれ福田醫學部長と菊池理學部長の決選投票となりその結果二票の差で菊池勇夫教授が選出された。

〃赤い教授〃で論戰

アメリカの全學連大會

海外ニユーズ

アメリカ全國學生協會（日本の全學連に當る[illegible]大學に支部を持ち百万人の會員を擁する）の年總會は八月下旬―九月上旬の十日間イリノイ州立大學で開かれ八百名の代表が集つたが、とくに〃共產主義教授を如何にすべきか〃をめぐつて論戰で沸き返つた。[illegible]カソリツク大學のアルフレツド・ジョンソン君は「赤のシンパは犯罪者だから、共產主義の教授に教育する資格はない」と論證したこれに對しシカゴ大學法學部學生アレツキス・ポープ君は「教授は課目を教へる力がないか、罪を犯した場合の外は教壇を去らしめられることはない」[illegible]

この論議の結果について、シカゴ新報は[illegible]「共產黨の脅威があるからヒステリカルになる前に、大學の民主的な性格に對する脅威がある」と言ふ結論におちつくだらうと豫測してゐる。（シカゴ新報、九月二十日付）

公演又公演の

音樂部

今年度、數々の演奏會に出演して大いに音樂文化の向上に貢獻した、音樂部男聲合唱團は、[illegible]

Y・Mの總會に

代表出席

十一月二十三日（勤勞感謝の日）日本基督教青年會（YMCA）同盟第二十三回同盟總會が、東京千代田區西神田に新裝なつた會館で行はれ、各都市YM・大學YM關係の代表[illegible]。

[illegible]七十余名が參集した。本學YMからは代表として岡橋、村井、末行の三君が[illegible]

[illegible]中の世界碑學界の巨星チユツテ博士の講演があり博士から多數著名な人々が[illegible]成〃全國各都市青年會館[illegible]全國一丸となつてこの運動[illegible]YMCAの持つ重大使命につき[illegible]現代はレイムウアメントの時代、東京YMCA、東大YM[illegible]

大学は出たけれど!!

完全雇傭望みなし

多難期に入らうとしつゝある時、三年生の就職決定者は未だ五〇名足らずと云ふ有樣で「就職戰線異常あり」の感が深いが、之は本學のみの現象ではなくて全國的な傾向である。次に最近の各大學當局の[illegible]數を紹介しよう

[illegible]る三年生も就職へ行く見て居たものゝ漸く悲痛の氣配濃厚となり就職斡旋係の窓口には日々押しかける學生で[illegible]人一ヶ所推薦[illegible]不滿の聲が昂まつて來て居る。[illegible]文部省及學校當局の善處を要望して居る。（11・25）

香川大學（高松經專）

例年に比し總て早く八月下旬から求人申込が始まり十月十七日の[illegible]レイヨンをトツプに始まつた就職試驗は[illegible]就職希望者百十三名へ[illegible]十一月十六日現在で採用決定者は一割にも充たぬ十名に過ぎず非常に悲觀的である。

北海道大學

北大も申込の出足は極めて早く九月末から就職し始めたが先づ明春初の卒業生を送る法文學部は全滅、[illegible]理學部は八十五名の卒業生に對して十名前後の申込が來て居るが例年に比して[illegible]は良好との事。工學部は百二十名の卒業生に對し目下四十二件の申込があるが卒業間際にどつと殺到する可能性ありと觀して居る。農學部は九月下旬から申込があり目下は三十六件六十二名申込がある。醫學部はインターンで就職問題の心配はない。

一橋大學

各大學の就職難を尻目にさすがに一橋は賣れ行きの良い[illegible]十一月中旬のデータによると[illegible]求人申込一八〇社[illegible]

危機に立つ大學の自由

大學の本質の省察と

現實直視の鋭い眼を

社說

本學の飛躍的發展を期ひ、二千五百萬圓の資金募集運動が始つた。この資金募集の成否が、本學の將來に決定的な影響を與へることはいふまでもない。

かゝる重要な計畫が何故今日、吾々の常識において最も不利と考へられる時期を選ばなければならなかつたか？本學の進むべき方向は未だ決定してはゐなかつたのか？本學の在るべき姿は未だに描かれてはゐなかつたか？

現在においては既に無用な問ひである。何故なら、本學の方向は指示され、募金活動は開始されたからである。吾々は、今日の客觀狀勢が如何にこの運動を困難ならしめるかを豫測すると同時に、如何なる困難も意志と團結の源泉が存する限り、克服されることを知らねばならぬ。募金の成否は一にかゝつて此處に在る。

我々は募金運動の重要を痛くみるが斯かる運動が何故展開されねばならなかつたかを反省的に更に一歩尋ねてみねばならないであらう其處には我々の看過し得ぬ一の重要な事實が存在するそれは政府文教政策の貧困不備之である。

その端的な性格は全學連第三回臨時全國大會の決議文に對する文部當局の回答中次の言葉の中に見出される即ち研究所の[illegible]の爲やむを得ない……と。

我々とて敗戰により背はゞ國家が破產したと言ふ事實を無視する譯では決してない。只平和的な文化國家として生れ變はらんとしつゝある我が國に於てはその可能的な範圍內に於ては若し政府が眞に吾が祖國のあるべき姿を解するならば文教政策の上に於て今日程の貧困さを露呈しないのではないかと言ふ點にある。現代的理性の缺除は例へば私學法に於て官僚統制強化を意にして私學のアウトノミイを保に危惧を抱かせ私學經營始め關係者から總反擊を受けて居る點にもみられる。

又六、三制建築豫算の第五回國會で均衡豫算の犧牲となつて全面的に削除されて居る點にもうかゞはれる。

更に重大な點としては進歩的教授の追放を策し着々と〃大學の自由〃を侵害しつゝある事が指摘されねばならないであらう。

眞理の探究たる大學は當然南原東大總長も聲明した如く「學問の自由」を守り抜かねばならず、如何なる思想學說の研究も完全に自由でなくてはならない。思想には思想を以てのフエアプレイは學問研究の世界に於ては鐵則でなければならないであらう。更に或る一事に偏向して居ると言ふ一事のみを以て大學の教授がその地位を追はれると言ふ樣な不合理は文化の破壞的性を意味するに過ぎない。斯かる文教政策はその[illegible]での軍閥政府の政策であり文化日本の建設は思か再び彼の現はしきアツシヨ國家に轉落する事は火を見るより明かである。

我々は此の目で「大學の擁護」をみて來た筈である。今再びあの悲慘な敗殘の道を辿る事は斷じて許されない。二千五百萬圓募集の完遂が當面の全學を要する課題であるとしても我々の純正なる眼がその一點に集中する許りではなく逆に全体的な視野においてこの問題を考へる必要があるのである。よしんば二千五百萬圓の資金募集が成り〃研究の自由〃が確保される基盤が成つたとしてもそれは一つの可能性の設置にしか過ぎないであらう。何故ならそれは[illegible]として常に絕對的な〃大學の自由〃或は〃學問の自由〃を擁護しなくてはならぬ故である。然るに〃學生も教授も時代の變遷の中に置かれ乍ら、[illegible]超時代的に行動して居る。超時代的は本學にあつては直ちに時代錯誤的に通じて居るのだ。少くも大學の學徒が今大學の根本的自由が崩壞せんとしつゝあるのを眼前にし乍ら、それに何の危機の念をも表明しないと言ふ事はそれ自体本學が眞に大學としての步みを辿つて居ない事を立證して終りありと斷言せざるを得ない。

南原總長が斯かる問題に對して斷乎として大學の自由の爲に抗議聲明を發した所にも我々は彼の大學と此の大學との遠ひのみが偉りに明瞭に感取せざるを得ないのであり、[illegible]此處にも本學の要求される所は〃大學の本質〃への省察〃と〃現實直視の鋭い眼〃である。

何故私は缺席したか？

輿論調査

綠丘自治委員會では最近の缺席者激增に對して各學年每に缺席理由の解明を主眼とする輿論調査を行つて居たが最近その結果が次の如く明かとなつた

[illegible]は教授にあり。（表に示す數字は上より順に經專三年、二年、商大一年及合計のそれを示す。以下同じ）

◇私は何故缺席しなければならなかつたか？

	經專三年	二年	商大一年	合計
⑴講義內容の貧困、從つて營[illegible]	28	22	44	94
⑵アルバイトの爲	12	17	17	46
⑶[illegible]確保の爲	14	11	5	30
⑷列車遲延の爲やむなし	0	4	15	19
⑸講義時數の過多、從つて終業時間が遲過ぎ疲勞の爲	0	0	44	44
⑹病氣	12	12	0	24
⑺自己の意志、授業責任は學生にあり	5	8	8	21
⑻聽講の必要を認めず個人的研究に沒頭	7	4	0	11
⑼その他	11	5	17	33

高經專二年には時間割編成の不備を唱へる者が三人

此の中には運動部の練習の爲とか特に經專三年では就職運動會と言ふのが目立つ。

此の統計の示す所によれば絕對的に講義が面白くないとする者が多い事が知られる。尙注目すべきは授業時間割の不備を衝く者がその次に位する事であり特に商大の一日八時間授業が批判の矢面に立つて居る事が知られる。講義內容の貧困を衝く學生の意向は學生がペダンチストである點を考に入れても尙看過し得ぬ事實であり缺席增加の問題が全講義內容の完實化を第一の問題である事を思はしめる。

◇ではどうすれば缺席が少くなるか？

	經專三年	二年	商大一年	合計
⑴講義內容を充實せしめよ	47	20	10	77
⑵各自の自覺に俟つ	11	4	9	24
⑶經濟狀況の好轉を待つ	15	2	0	17
⑷時間割の改善	0	5	17	22
⑸缺席の制限を再強化せよ	5	0	4	9
⑹學生部の有效なるガイダンスを必要とする	8	1	0	9
⑺出缺調査を全廢せよ	0	5	0	5
⑻一週五日制の採用	0	7	0	7
⑼方法なし	0	9	0	9
⑽その他	3	5	19	27

第一回に對する對策としては講義內容の充實化こそ缺席者を減少せしめる最重要の點なりとする者が壓倒的に多く第一回の⑴と正しく對應する。中には自己の勉學心の缺除を[illegible]一般學生の中には教授は學者であると共に他方に教育のテクニシャンでもあるとして強く教授方法の改善を求めて居る者もあり注目される。尙時間割の改善の要求が商大に最も多いのは第一回の⑸に對應するものであり商大生が如何に現行の時間割に不滿足であるかを知らしめる。

◇私は學校當局へ斯く望む

	經專三年	二年	商大一年	合計
⑴出缺席調査の全廢	28	9	25	62
⑵教授陣容の充實	21	9	12	42
⑶學園關係の強化	13	3	0	16
⑷有名教授の特別講義開講	8	0	0	8
⑸授業時間の短縮と終了時間の繰上げ等時間割改正	0	8	20	28
⑹學生部の積極的活動	6	0	0	6
⑺厚生施設の完備	4	9	7	20
⑻圖書館の充實、圖書貸出	[illegible]	4	9	13
⑼その他	5	33	7	45

第二回には見られなかつた出缺席制度の全廢の要求が最も多いのは此の調査が缺席問題を中心として行はれた爲であらうと考へられるが何れにしても學生は出席を強制する事には反對の者が多い事を示して居る。それに次いで教授陣容の充實は第二回とも關連する所であるが學生の學的意欲が目下の所は滿足せしめられて居ない事を示す。

要するに此の調査の結果から缺席の原因は講義內容の貧困、缺席防止の爲には講義の充實にあり強制的な色彩を帶びる出缺席制度は全廢せよと云ふ結論が下される樣である。（尙調査人員は經專三年生八九名、二年生六〇名、商大一年生一〇〇名）

焦点

最近の一橋新聞にM.Z氏の寄稿で〃本を買えない大學教授〃と言ふのがあつたが實際此の國立大學の研究者も[illegible]事を示して居るより無い。それが文化國家として世界に於て輝しい地位を占めようと願つて居ると言ふのだから笑止千万である。M・Z氏によると收入に關して學界と官界とを比較すると大學を出る時には後者より[illegible]大學を出て約二十年で家族をかゝへる教授の月給は一万三千圓程度で[illegible]之には研究上の費用は一切含まれて居ないのである。必然的に[illegible]教授自身の研究費[illegible]かけもちと言ふアルバイトをせねばならぬ[illegible]然しその裏には教授の健康と貴重な研究が犧牲に供せられて居る譯だ。此の事實に我々は驚愕せざるを得ないのである。此の狀態では日本は世界的文化國家どころかますます世界文化から取殘されてしまうだらう。M・Z氏が[illegible]大學の研究者を虐待する國が何故あんなに多くの大學を作ろうとするのかわからないと言はれるのも尤もな話である。名前だけの大學を作るより先に「本の買える研究者」を大學の研究者に與へて欲しいものだ。

G.S.S.とは

綠丘會員の皆様へ特別奉仕です
あらゆる書籍のお取次を致します。都內の方は電話一本で地方の方は小社宛葉書（又は振替）で小社の利益を犧牲にして定價の五割引でお屆けできます。どうか續々御申込下さい。地方の方は送料は實費を御負擔願ひます。どんな本でもお間に合せします。雜誌は六ヶ月分以上お申込の方に限りお取次致します。
振替は東京一五四六九番です

株式會社 北條書店
東京・神田・駿河臺4の2 Tel.(25)0674.1432

日本戰歿學生の手記
きけわだつみのこえ
好評！再版
序文 渡邊一夫
解說 小田切秀雄
上製 B6 三五〇頁
定價 二〇〇圓

近刊
服部之總 編
東大文學部講師 中屋健一著
絕對主義論 B6 二八〇頁 定價一八〇圓
アメリカ社會の發達 B6 一五〇頁 定價一二〇圓
理學博士 增山元三郎校訂
推計學への道 A5 二〇〇頁 定價二〇〇圓
東京都文京區本富士町 振替東京 五九九六四
東大協同組合出版部

岩崎書店
東京神田 保町1の6
日本經濟機構研究所編
政治經濟大辭典 A5判七〇〇頁 定價八〇〇圓
宮本百合子文庫
風知草 第一回配本 定價一二〇圓
羽仁五郎選集 全五卷
歷史の方法 第一回配本 定價二五〇圓
哲學小辭典 岩崎書店版 定價二八〇圓

學生評論 價60圓 新編集第三號
原子科學と世界觀の問題 中村靜太郎
國際主義と民族主義……平野義太郎
歷史的形成への情熱……柳田謙十郎 ―學生政治運動の使命―
座談會「きけ・わだつみのこえ」をめぐって ―戰爭と二十代― 宮川鶴次郎 白井吉見 加藤周一 羽仁說子 他學生四名
講座 日本近代文學史（第一回）小田切秀雄
東大教授の內幕（理・工學部の卷）…赤岡太郎
映畫 若き親衛隊
（小說）發動機工場……沖浦和光
（グラビア）
日本學生運動史（3）……全學連編纂

QQQ
溫泉土產は是非
サンキュウで
岩原御みやげ店
岩原秀雄（昭二〇卒）
―登別溫泉―

向坂逸郎著
「經濟學方法論」全三卷
マルクス學研究の新たなる体系成る
靜田均 利潤論 二二〇圓
宇野弘藏 價値論 一二〇圓
鈴木武雄 市場理論 一六〇圓
米澤治文 統計學 二百〇圓
發行所 東京神田駿河臺下
河出書房

「カントの先驗的認識論について」

清水聖一

カントの名を永遠ならしむるものは、彼の創見になる「批判主義哲學（Kritische Philosophie）」である。彼の所謂超越的哲學又は「批判的理想主義」がこれである。「批判的理想主義」、「超越的哲學」はカント以後の哲學をカント以前の哲學より截然として區別するものである。彼の此の思想は、實に人類思想上、古今未曾有の大革命をもたらしたものであつた。實にカントは地心を穿つが如き深い思索によつて、哲學史上、コペルニクス的大轉回を以て、從來の古き世界觀の殿堂を轉覆、粉砕し去つたのである。モーゼス・メンデルスゾーンがカントを評して一切の粉砕者と評したのは誠に適評であると言はねばならない。

然らばカントは何を粉砕し何を創建したのであらうか。それには、カント以前の世界觀、殊にその認識論の如何なるものであつたかを尋ねてみなければならぬ。

カント以前の世界觀、認識論を支配せる思想はギリシャ哲學の思想であることは言ふまでもない。而してギリシャ思想の特徴は智力主義にあつた。即ちギリシャ精神は、世界を一個の藝術的作品と見、人間はその智力を以てこれを知り得べしと信じたのである。然るにこの思想は、實にその根柢に、吾人の認識する心と他方これに映る物の對立、認識と認識對象の對立、即ち人間精神とその認識するところの客觀獨立の實在の世界を豫想するもの、從つて精神認識の對象としての客觀獨立の世界の實在を豫想するものである。かくてこの思想によれば、我々の知識は、彼岸的な世界の實寫に外ならない。實物の摸寫、その反映としての認識――これぞギリシャ思想の根柢に横たはる認識根本の假定であつたのである。獨りギリシャ思想に止まらず、批判主義哲學以前の思想は、悉くその根柢に此の認識根本の假定を持つてゐるのである。此の認識根本の假定により、プラトンと正反對の立場に立つてゐるプロタゴラスは、彼の相對的懐疑主義に陥つた。即ちプロタゴラスは感覺主義を奉じて、人間一切の認識は外物の認識であり、その誤を感覺に發すると考へ、感覺は人間の感官を通じて擾亂されるのである故、感覺の際必然的に感官の影響を受けるのであつて、從つて[illegible]

カント直前の哲學は、一方ではライプニッツの獨斷主義、他方ではヒュームの懐疑主義となつて、調和し難い對立を形成したのである。

ヒュームによれば、吾人の認識は必然の法則としての因果律を承認し得ず、經驗的なるものゝ常發は單なる蓋然性を示すのみと考へた。之に反してライプニッツは、吾人の理性認識の客觀性を維持せんとして、吾人の觀念、判斷の客觀性を主張し、その根據を豫定調和に求めた。

以上要約すれば、認識とは外物の認識である。從つて認識せんが爲には、吾人はその心の作用を外物に從つて整理統一しなければならぬ、といふのが、獨斷主義と經驗主義との區別を問はず、カント以前の思想、批判主義的哲學以外の思想に共通なる認識根本の假定である。而も吾人の認識は、それに相應對立する客觀的獨立實在の認識である、といふ思想は、證明し得ぬ一個の假定、獨斷である。

カントはこの認識根本の假定に對して、鋭い觀察力を以てその缺点を看破し去つた。カントによれば、認識は必ずしもその對象としてそれに相應する客觀的獨立者を有さなければならぬといふやうなものではない。從つて吾人の認識は必ずしも認識對象に準據するを要しない。むしろ認識されるものこそ、認識に準じて自らを形成するのではあるまいか、といふのである。彼は此の思想に導かれて、人間認識の二大根源たる感性及び悟性の發見をなし、一方感覺の根柢に、一切感覺に先立つて一切感覺を可能ならしむる根本の形式、カントの所謂「純粹直觀」即ち空間と時間といふ先驗的形式を發見し、他方一切悟性活動の先驗的形式として十二の範疇を發見した。

蓋し、カントは人間認識が感性及び理性に根ざすを見、この感性のうち、外感は空間によつて作はれ、內感は時間によつて作はれると考へたのである。換言すれば、一切の外的現象は空間のうちに起り、內外一切の現象は時間のうちに起るとみたのである。しからば彼によれば、時間空間とは何であらうか。第一に時間空間は、いづれもこれを經驗よりとり得る經驗的概念ではない、第二に空間は外的現象、時間は內外一切の現象の、觀照に備はる先驗的必然的表象である。即ち時間空間は現象に先立つて存する必然的の先驗的表象である。第三に空間時間は、個々の空間及び個々の時間より抽象して得たるところの一般概念ではなく、純粹直觀である。これを要するに、空間及び時間は、一切の現象即ち經驗的對象に先立つて、しかもこれを先驗的に規定する吾人の直觀である。しからば、かゝる直觀は如何にして吾人の心に作するを得るのであるか。カントによれば、「それは明かに主觀にその所を有するものである。」といふのである。

かくして一切現象可能の條件である時間及び外的現象可能の條件である空間は、吾人主觀の直觀感性の形式に外ならず、これは完全に主觀的なる時に、主觀的なるものである。しかるに一切內外の現象即ち現實は、この主觀的なる時間空間によつて始めて可能なものであるから、吾人精神に對立して獨立自存するものでなく、認識精神所産の世界、精神自らの世界なのである。かくしてそれまで認識者に對立する獨立自存の實在と見做されてゐた感覺の世界は、認識者の精神の中に攝取されて、その世界となつたのである。これは「宇宙をその根柢から覆へした大革命」といふべきである。

しかるに、前述した如く、吾人の認識は感性のみで成ずるのではなく、同時に悟性の作用をまたねばならぬ。感性によつて事物を得、悟性の統一によつて始めて認識は可能となるからである。「內容なき思想は空虛にして、概念なき直觀は盲目である」といふのは、かゝる故である。

悟性は判斷する力である。しかるに判斷とは吾人の表象の間に統一をもたらす作用である。こゝに悟性の作用を尋ねんとすれば、當然判斷統一の形式を求めなければならぬ。かくしてカントは判斷の表をかゝげ、これにより悟性の作用、純粹悟性概念即ち範疇を導き出したのである。[illegible]

かくて、カントはカント以前の哲學者がなし得なかつた課題の解決を、鋭い洞察を以て、探究し完成したのである。彼の功績は哲學史上最高峰として永遠にその名を殘すものであり、カントこそ精神界、哲學界の一大明星であり、近代文明の世界に生くるものは、等しく彼の前に敬虔に跪かなければならない。

（筆者商學部學生）

「歴史は繰返す」

國家主義と個人の自由を廻つて

笹原　武

歴史は繰返すと云ふ。之の言に對しては異論はあるかも知れない。しかしこゝで「繰返す」とは文字通りの意味ではない。

そも〳〵歴史とは人間の社會生活の記録でありそれは歴史的價値のある個個のみが取り上げられるのであつて太古から繰り返されてゐる事でも歴史的價値のないものは歴史として取り上げられないのは勿論である。歴史が人間の社會生活の記録であるならそこには類似的な人間性の發露が認められるのである。相違つた時代に類似的な世界の流れが認められるのである。その類似性は多くの点で見られるであらうが吾々はこれを「國家主義」とその反動としての「個人の自由」の中に見出すのである。吾々はこの事實を西洋史上に於ける「古代」と「近代」といふ相へだたつた時代に比較して次の如く見てゆく事が出來よう。

「古代」に於て吾々の最も注目するのは「ギリシャ」「ローマ」である。これらの政治活動を見るに政体としては寡頭政治貴族政治或は僭主政治があつたがいろ〳〵あつたが國家主義的に行はれとにかく市民が國家的生活を以て唯一の生活と考へる点に於ては變りはなかつた。愛國心は强烈であり無上の生命を投じたのでその國家生活は甚だ盛んであつた。最も「スパルタ」に於て之が著しく「國家主義」の生活はあつても私的生活は國家に於けるものではなかつた。即ち自由な人間としての生活を求め[illegible]

「ローマ」帝國內に侵入して原始的であつたが發展してゐる事を知り得る。國家主義は國家全盛な發展のときに於てとられそしてそれが純粹に人民に壓迫を加へるとそこに反動として、個人としての自由が現はれる。かゝる國家の中樂をなすのは國王、貴族武士であつて社會に於ては彼等の努力のみ踊り強くその下に在る農民の生活であつたと云つてもよいであらう。然るに後に「近代」に於て歴史は古代から現代にかけて常に「繰返」してゐる事は[illegible]

（筆者三學年學生）

"MIDORIGAOKA"の皆さんへ

およそ一昔の前この丘の上で教鞭をとつて居られたストーリー氏がたまたま英國使節團の一員として來朝中の所先般上京の玉井教授に會はれ、教授を介して商大新聞に、懐かしの手紙を寄せられた。

To return to Japan after an absence of nine years is both a sad and an interesting experience; sad, because one realises again - as in Europe - the moral and material havoc caused by the War and all that led up to it; interesting, because one has the opportunity of meeting old friends and acquaintances once more and of seeing again familiar places, which have many associations with one's recollection of days before the war. However, very much to my regret, I have not been able to visit Hokkaido, to see Midorigaoka where, from 1937 to early 1940, I lived and worked, finding much interest and tranquillity the sound of the „semi" among the trees in summer, the sight of the skiers on the snowy slopes in winter, and the spectacle of the spring blossom gracing the long hill, „Jigokuzaka", from the city up to the College. It is a pity that I was unable to revisit the scene of these pleasant memories. Nevertheless I shall certainly make the journey some day. When that will be I cannot exactly predict, But the happy day will surely come. I should like to send my warmest greetings to „Midorigaoka". The College, I understand, is now a University. As the leading College of Commerce in Japan (or so I believe) this change of status is very well merited. In my own days in Otaru I often thought that the round caps of the students could well be exchanged for the square caps of university students. For a cosmopolitan atmosphere certainly existed in the Kosho of before the war, and there was an intellectual curiosity, as well as an attention to learning, which was not unsuitable to the style and dignity of a university. The ship on which I am travelling to England sails tomorrow. And as I leave the shores of Japan for the second time in nine years I feel once again sad to be leaving friends---many of whom, through my own fault, I have been unable to meet. To them, and indeed to the „Midorigaoka" which I remember so well, I must bid not farewell but „au revoir". Best wishes' success, and many generations of useful service to the University on the Green Hill !!

G.R. Story
Motor Vessel
„Cyclops"
Kobe Harbour
16th November, 1949
&
Allaloon
Fairlight, Cove
Near HASTINGS
SUSSEX
ENGLAND

××× ××× ××× ××× ×××

××× ××× ××× ××× ×××

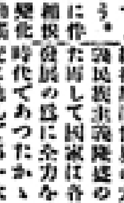
××× ××× ××× ××× ×××

「ストーリー氏と私」

玉井　武

その頃の小樽高商には隔年當時富岡町のマリア幼稚園の上にあつた自分の家にも再々一人校庭若い英國人が來朝し語學と商業學の講義を擔當して校庭を賑わして居た。ストーリー氏もその一人で、昭和十二年オックスフォードを卒業すると直ぐ日本大使館の斡旋で來朝し、六月十五日[illegible]

自分の家にも再々見えて、子供達には「ストーリーちやん」と愛稱を奉られてゐた。山岳部の學生諸君と嶺々に登つた事もある。[illegible]



書評

前東京商大教授米谷隆三著

「約款法の形成」
「約款法の性格」

喜多了祐

[illegible]に野作、西原博士による多くの讃賞の言葉にも明かな如く學界の[illegible]

（新經濟研究社刊、七〇圓、五〇〇圓）

浦島太郎の歸還

久木教授訪問記

昭和十九年突然本校を去られて千島へ應召され、終戰後千島からシベリヤ各地に轉々と俘虜生活を送つて本年九月一日久方の祖國に復員された久木教授を玉井教授宅に訪れた。[illegible]

R·K·O「汚名」

レデイオ映畫

アルフレッド・ヒッチコック監督作品。[illegible]

（筆者三學年學生）

學的雰圍氣の向上を

―淺野君に答ふ―

[illegible]

（父生）

正氣寮だより

十一月十二日、正氣寮先輩を招く會をいたしました。始めての試みで資料もなく、全部の先輩に案內出來ずに來ていただけそうな方々十名程御案內しました。[illegible]

學內短信

◇ヘウンド氏講演會　六日三時より、第三番教室に於て、小樽市民事部長Ｇ・ヘウンド中尉の講演會が行はれた。これは教育に熱心な氏の個人的な好意によるもので、初めに小林教授の紹介があり四時好評裡に終了した。

◇米村教授著書　米村教授第二の著書「會計學の根本原理」（Ｂ６二三〇頁、二〇〇圓）が東洋經濟新報社より出版された。

緑丘會欄

◇母校研究所設立と其後の經過について

本紙前號に於て小樽商大研究所設立の發起人會が先ず二千五百万圓を目標として[illegible]

◇後記◇

「緑丘」發行も軌道に乗つて今年第六號を出します。[illegible]新聞の都合上、のせられませんでした。おわびいたします。

13日札幌同時封切
湯島通れば想ひ出す
お蔦主税の心意氣
哀切惻々と胸に迫る！
全女性必見の大戀愛映畫
婦系圖（をんなけいず）
海外版
長谷川一夫
高峰秀子　主演
山田五十鈴
新東寶

13日――19日
文部省推薦映畫
待つてゐた象
企畫樣・エンタツ
名古屋東山動物園の象問題
同時上映
大野象狩
20日より待望の
ソヴエイト總天然色映畫
汽車は東へ行く
電氣館

來る14――20日迄
21日封切
善人サム（近日）
★妙見河畔★
小樽映劇　上映